

内川



内川小学校だより

第 9 号

2013. 5. 24. FRI

TEL:46-2705 FAX:46-2107

教育目標

- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

準特選「福島県教育委員会教育長賞」!

5月22日(水)、郡山市日和田町にある県農業総合センターにおいて、平成25年度第34回福島県緑の少年団活動実績発表大会が行われ、県内から6団体が発表しました。各団体ともすばらしい発表でした。参加団体は、川南小、謹教小、内川小、飯豊小、大戸小、中谷一小です。



いよいよ審査発表です。なんと、内川小「矢祭山みどりの少年団」の活動実践が、準特選「福島県教育委員会教育長賞」をいただきました。感動・感謝です。特選「福島県知事賞」は会津若松市の川南小「ホテルの里」緑の少年団でした。

今日の発表大会に参加させていただき、たくさんの感動をいただきました。他の団体の発表態度や発表内容もすばらしく、今後の活動の参考になることがたくさんありました。5・6年生のみの参加でしたが、発表した団長の鈴木さん、補助の副団長の芳賀くんの態度にも感動しました。「3かん王」(関心・感動・感謝)をさらに高めていきたいと強く感じました。

この発表大会に向けて、担任の本田先生だけでなく、活動実践調書や7分の発表原稿は教頭先生に、写真ボードは熊倉先生や石井先生に、緑の少年団の制服があることを青砥先生に教えていただき前日に見つけたり、発表練習では平山先生や渡邊先生にご指導いただいたりと、先生方からのサポートがたくさんありました。感謝の心を忘れないで、これからも、緑の活動に取り組んで欲しいと思っています。これからも応援よろしくお願ひいたします。

【審査講評】：「3年ぶりの発表大会でしたが、差をつけるのが難しく、どの団体が県知事賞でもおかしくありません。充実した活動を目指してどの団体もよく頑張っていました。」

【各学校ごとの講評】：内川小学校には、「3つのテーマ(自然・郷土・人との関わり)のもと、地域の方との関わりがあり、「感謝」の気持ちを忘れずに活動しているのがすばらしい。心を育てる活動になっている。これからも自分の地域に対する誇りを忘れず、感謝の心を大切に活動してください。」



活動実績発表の様子

1 矢祭町：内川小学校「矢祭山みどりの少年団」



2 会津若松市：川南小学校「ホタルの里」



3 会津若松市：謹教小学校



4 小野町：飯豊小学校



5 会津若松市：大戸小学校



6 石川町：中谷第一小学校



○ 県農業総合センター 大会議室

